

認定番号	
------	--

**JPSUスポーツトレーナー 資格更新用報告書**

ふりがな 氏名	所属先・肩書	出身学校
住所 〒		電話番号

\*【運動実践報告】、【運動指導報告】、【ケガの予防対策報告】、【救急対応報告】について記載をしてください

**【運動実践報告】**

1	実施期間：	
	実践場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
	実践内容（300～400字程度）※自らの実践内容	

**【運動指導報告】**

※スポーツ現場のみならず学校現場、会社内、身近な対象者等に対する指導も含む

2	実施期間：	対象： 幼児 ・ 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 一般 ・ 高齢者
	指導場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
	指導内容（300～400字程度）	

**【ケガの予防対策報告】**

※準備体操を含めたウォーミングアップおよびクーリングダウンの実施や環境整備等も含む

3	実施期間：	対象： 幼児 ・ 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 一般 ・ 高齢者
	対策場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
	対策内容（300～400字程度）	

**【救急対応報告】**

※EAPの作成、救急処置の実践、救急処置に関する物品の準備等も含む

4	実施期間：	対象： 幼児 ・ 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 一般 ・ 高齢者
	取組場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
	取組内容（300～400字程度）	

認定番号	〇〇〇〇〇〇
------	--------

**JPSUスポーツトレーナー 資格更新用報告書**

ふりがな	所属先・肩書	出身学校
氏名 〇〇〇〇	〇〇〇〇 ・ 〇〇〇〇	〇〇〇〇大学
住所 〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	電話番号	〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

\*【運動実践報告】、【運動指導報告】、【ケガの予防対策報告】、【救急対応報告】について記載をしてください

**【運動実践報告】**

実施期間：〇〇年〇月～〇〇年〇月	対象： 〇〇〇〇
実践場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
実践内容（300～400字程度）※自らの実践内容 例1. 体育教員として、体育実技において50分授業を週7コマ、生徒と共にバスケットボール、バレーボールなど行った。 例2. 水泳部の指導者として、生徒と共に毎日〇〇Km泳いだ。 例3. トレーニング施設の場合：スポーツクラブのインストラクターとして、自分自身の身体を維持するため筋力トレーニング、有酸素運動など毎日2時間のトレーニングを行った。 例4. 病院でのリハビリスタッフとして、自ら見本となるため各種トレーニングを行った。 例5. 地域のスポーツ大会で、リレーの選手として参加した。 例6. 健康の維持・増進を目的に、毎日40分間のジョギングを行った。	

いずれかを丸で囲む

**【運動指導報告】**

※スポーツ現場のみならず学校現場、会社内、身近な対象者等に対する指導も含む

実施期間：〇〇年〇月～〇〇年〇月	対象： 幼児 ・ 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 一般 ・ 高齢者
指導場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
指導内容（300～400字程度） 例1. 体育の授業において、ウォーミングアップ、クーリングダウンの指導を行った。 例2. サッカー部の顧問として部員に対し、週6日技術的・体力的指導を行った。 例3. エアロビクスインストラクターとして週10本のクラスを担当し会員に対し運動指導を行った。 例4. 病院でのリハビリスタッフとして、患者さんに対してトレーニング指導を行った。 例5. 社内の腰痛予防体操を考案し、社員に対して期間内に4回指導した。	

いずれかを丸で囲む

**【ケガの予防対策報告】**

※準備体操を含めたウォーミングアップおよびクーリングダウンの実施や環境整備等も含む

実施期間：〇〇年〇月～〇〇年〇月	対象： 幼児 ・ 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 一般 ・ 高齢者
対策場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
対策内容（300～400字程度） 例1. 保健の授業で、ケガの発生要因やアイシングなどケガ予防に関する授業を行った。 例2. 運動部の生徒を集め、ウォーミングアップ、クーリングダウンの重要性などケガ予防に関する勉強会を開催した。 例3. フィットネスクラブの会員に対し、ウエイトトレーニングでケガにつながるフォームに対し矯正指導を行った。 例4. リハビリを行っている患者さんに対し、受傷肢位を避けるよう動作指導を行った。 例5. 外回りの営業社員に対し、熱中症に対する予防ポスターを作製した。	

いずれかを丸で囲む

**【救急対応報告】**

※EAPの作成、救急処置の実践、救急処置に関する物品の準備等も含む

実施期間：〇〇年〇月～〇〇年〇月	対象： 幼児 ・ 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 一般 ・ 高齢者
取組場面：学校体育 ・ クラブ部活動 ・ トレーニング施設 ・ 医療機関 ・ その他（ ）	
取組内容（300～400字程度） 例1. 中学校において、EAP（緊急時対応計画）に沿ったシュミレーションを期間内に2回実施した。 例2. 水泳のクラブ活動中、CPRが必要な場面に遭遇し、AEDを使用した。 例3. フィットネスクラブにおいてEPAの作成に携わり、必要となるバックボードなどを購入した。 例4. 緊急時対応の一環として、AED設置場所、バックボード設置場所など社内のフロアマップを作製した。	

いずれかを丸で囲む